

東北・新潟にこだわり続ける ICT 会社の地道な DX チャレンジ

東北インテリジェント通信株式会社

取締役社長 齋藤 恭一



ご挨拶

東北インテリジェント通信株式会社の齋藤でございます。皆様には、日頃より弊社事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、東北活性化研究センター様の誌面へ寄稿する機会を頂戴しましたので、東北・新潟のさらなる発展に向けた活動を皆さまと一緒にさせていただく一助となることを祈念して、弊社の概要と最近の取り組みについてご紹介させていただきます。

当社の概要

当社は、東北電力の100%子会社として、東北・新潟の法人さま向けに、通信を核としたICTサービスをお届けしております。お陰様で、今年10月に30周年を迎えました。これも一重に関係各位のご厚情の賜物であり、あらためて感謝を申し上げます。

30年の歴史を振り返ると、この間積み重ねてきた3つの基盤、すなわち①51,000km（地球1周1/4相当）を超える光ファイバーケーブル、②100社を超える工事会社さまのご縁、③弊社サービスご利用のお客さまのご縁、これらがかけがいのない財産となっております。

一方、取り巻く環境を見ると、コロナ禍を契機として事業運営スタイルもライフスタイルも大きくニューノーマルへと転換、同時に、ICT

技術そのものが通信面でも利用面でも一段とスピードを増し激変の一途を辿っており、まさに30周年のこの時は、当社の歴史の中でも第二の創業ともいえるような、大きな転換点に差し掛かっております。

最近のトピックス

こうした中、当社は今、3つの財産を活かしながら、これからも東北・新潟にこだわり続けるICT会社として、愚直に地道なやり方で、2つのDXへのチャレンジを進めているところです。

①社内DXとお客さまDX支援

DXについては、データ活用やAI活用といった側面が脚光を浴びることが多いようです。しかし、当社は、自社業務のDXについても、お客さま業務のDX支援についても、まずは基本に立ち返り、“Garbage In, Garbage Out！（ゴミを入れたら、ゴミが出てくる）”を肝に銘じ、「見える化」と「デジタル活用」から地道な取り組みを積み重ねているところです。

自社業務については、オフィスDXとコア業務のデジタルBPR（業務の抜本的再構築）の両面からリーンで柔軟な業務基盤づくりを進めております。特に後者は、当社工事を支えていただいている工事会社さまと連携をとりながら、業務全般を対象に「見える化」を行い、現場作業起点での徹底的な断捨離と業務再構築を目指し

ております。そのために必要となる基幹システムやモバイルデバイスについては、ノーコードアプリを活用することなどによって、BPRとの同時並行でのインフラ再構築が進めやすくなりました。

一方、当社では、お客さまの工事や製造の現場フィールドにおけるDXトライアルに寄り添い、ICTソリューションパッケージのご提供を通じた現場実態の「見える化」によって、お客さまがDXを進めるための第一歩として、今直面している課題を浮き彫りにするお手伝いを志向しております。特にこの中で注力しているのは、通信のプロとして、電波が届きづらい広いエリアや障害物の多い建物内でも、デジタルツールを手軽かつ快適に使うDXを進められるような、「どこでも通信」サービスのご提供です。

このように社内外のDX実証を通じ得られたリアルな知見を、DX支援ソリューションパッケージとして統合することによって、より実践的で付加価値の高いご提案を目指しております。

②デジタルプラットフォーム「よりそう東北コネクト」

当社は、新たなビジネスモデルの創造を目指し、昨年11月にスタートした法人さま向けのデジタルプラットフォーム「よりそう東北コネクト（以下「コネクト」）」の運用を開始しました。

東北電力グループは、創業以来、「東北・新潟エリアの繁栄なくしてグループの発展なし」との価値観のもと歩みを続けてまいりました。

コネクトは、こうした中で育んできた、東北・新潟エリアの法人さまとのかけがえのない「つながる」の基盤を活かし、お客さま同士の「つながる」をお手伝いすることを目指しております。

現在、『つながるe商談』、『つながるeインキュベーション』、『つながるe掲示板』の3つ

の「つながる」を通じ、掲載コンテンツ数は100を超え、お陰様で、多くの皆さまにご登録、ご活用いただく機会が拡大してまいりました。

このように趣旨にご賛同いただいた東北・新潟エリア内外の様々な法人さまとの間で、協働での新たなサービス開発や営業活動についてご相談する機会が徐々に拡大し、大変ありがたく感じている次第です。



「よりそうコネクト」のURL
<https://tohoku-connect.cuusoo.com/>

結び

東北電力グループは、人口減少・高齢化といった社会課題が全国に先駆けて進行するこの東北・新潟の地で、その課題解決を通じスマート社会の実現に貢献すべく、新たな事業展開を目指しております。当社もその一員として、地域とともに変革を続け、東北・新潟の持つポテンシャルを活かす活動を皆さまと共に進めてまいりたいと考えておりますので、どうかこれからもよろしくごお願い申し上げます。